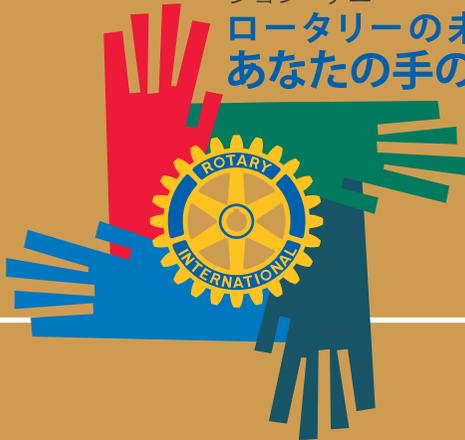


2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長／対馬健一 幹事／中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

- 本日
来賓卓話
元ノルディックスキー
女子ジャンプ選手 山田いずみ様
- 次週予定
年忘れ家族会

会員誕生日	
12月3日	対馬 健一
12月6日	西谷 英樹
12月7日	河部 勲
12月7日	佐藤 寛明

特別慶祝(還暦)	
12月3日	対馬 健一

No. 2398

第21回 12月2日

出席報告

前例会

会員総数	43名
出免会員	4名
出免出席	2名
出席会員	32名
出席率	78.05%

前々会

第18回 11月11日

出席会員	35名
メイクアップ	0名
修正出席率	80.49%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

- 本日、平成21年度留萌南部ブロック合同学習会が留萌中央公民館にて開催され、西谷社会奉仕委員長・中出幹事と共に出席し、クラブからの支援金をお渡しして参りました。
- 留萌みなとライオンズクラブから12月8日開催のクリスマスパーティーのご案内が参りました。私が出席して参ります。

👤 幹事報告

会報受領先

- ・砂川 R C No.1933号～No.1936号
- ・赤平 R C No.2371号～No.2376号

👤 委員会報告

親睦活動委員会 渡邊副委員長

12月9日に開催される年忘れ家族会の出席確認を行っております。既に皆様にはFAXにてお願いしておりますが、まだ出欠・人数確認を出されていない会員は今日中に私の方まで連絡ください。

国際奉仕委員会 大嶋委員長

11月の財団月間へ多くのご協力をありがとうございます。本日をもって「受付を用意して」の受付を終了いたします。今後、随時国際奉仕委員会にて引き続き、米山・ロータリー財団とともに受付をしておりますので、よろしく願います。

ニコニコBOX

- 昨日は選考委員会の皆様お疲れ様でした 二次会にも遅くまでお付き合いありがとうございました 中出会員
- ローターリー財団へのご協力ありがとうございました 大嶋会員
- マージャン大会優勝しました 佐藤(寛)会員

前 回	481,000円
今 回	5,000円
累 計	486,000円

プログラム

(先週からの続き)

みんなの夢に対して、税金がちょうど投入されにくい分野でございまして、彼らの治療は全額厚生省が直接出されますが、実際彼らが治った後とか、キズを残しての心のケア、亡くなってしまったご両親へとか、闘病中の心のケアについては直接支援が無いのが現実です。国土交通省が公園を造っても、文部科学省がキャンプ場を造っても、なかなか彼らの行けるような施設ではありません。そういう行政の支援を求めていくのもわれわれの活動にはなりますが、まずは民間の力をお借りしながら前へ進み、後から行政にも理解を得てご協力をいただく形になればと思っております。彼らの夢を、彼女らの夢をなんとか実現してあげたいと思っております。私もこれから30年40年、人生を賭けてこれを進めて行きたいと思っております。皆様のご支援をよろしくお願いします。

最後に、キャンプ場でのエピソードをお話して終わりたいと思います。

キャンプは8月に終わりましたが9月の連休に埼玉県から二人ご夫婦が来られました。そのお子さんというのが、7歳の小児ガンの女の子で東京の病院で入院していてこのキャンプに行く為に、ベッドの上で乗馬の練習をしたり、グライダーを乗るためのシュミレーションをしたりと、キャンプにくる為に頑張っていた子供で

した。しかし、どうしても来れなくて7歳で亡くなってしまいました。その親御さんが子供の遺影を持って、子供の行きたかったキャンプのプログラムを体験されていきました。この9月の悲しみの中、写真を抱えて笑顔で体験されていきました。最後にキャンプ場に木を植えて、その下にちーちゃんという名前でしたが、その子の骨を少し散骨されました。ちーちゃんの名前を呼び続け号泣していました。

後日連絡がありまして、次はボランティアとして私たち夫婦も参加するとの事でした。そして、その木をずっと見守っていてほしいと言われてきました。我々のプロジェクト自体も途中で止める訳にはいかないプロジェクトにどんどんなっていますし、責任を持ってこのキャンプ場を守っていく必要があると再認識いたしました。

時間となりましたので、この辺でプロジェクトのPRとさせていただきます。ありがとうございました。



プログラム.....

年次総会 (会員総数 43名中32名出席)

2010~2011年度 役員・理事指名者



会長(理事)
二ノ宮 清信



会長エレクト(理事)
鈴木 康伸



副会長(理事)
山本 譲二



幹事
森 俊二



副幹事
渡邊 裕久



会計
西谷 英樹



会場監督
齋藤 敏夫



理事
行徳 幸治



理事
森 幹雄



理事
関野 政人



理事
清水 陞

●●●●●● ロータリーの友拾い読み (友11月号より) ●●●●●●

＝ロータリーをロータリアンに返したい＝

2009～2010年度の国際ロータリー（R I）テーマが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と発表された。ジョン・ケニーR I会長が語られている「ロータリーをロータリアンに返したい」の一言こそが氏の心根であろうし、ロータリーの現実を踏まえた生々しく重い言葉ではないだろうか。

これはまさにロータリーの原点回帰を推奨するものであり、草の根の奉仕を標榜してロータリーの原点回帰の必要を説かれた、ビチャイ・ラタクル元R I会長の主張と相通じるものを強く感じる。

近年におけるロータリーは、その原点における思想や理念を踏まえることなく、“変えること・変わること”がまるで美德であるかのような流れの中で、「真正ロータリー」を失いつつある。ケニー氏が職業奉仕を強調されていることに期待をするとともに、現実を憂える心あるロータリアンに、勇気と希望を呼び起こすものであろう。

ケニー氏の主張に関連してだが、「友」誌3月号横組み18～21ページの2009年国際協議会レポートで、ラジェンドラ・サブール元R I会長は「職業奉仕を取り除けば、ロータリーは単なる社会奉仕団体になってしまいます。また、職業奉仕から倫理を取り除けば、職業奉仕は地に落ちてしまうでしょう」と述べている。言い換えれば、職業奉仕の理念によってロータリーの思想と行動のすべては貫かれているとの真意である。

忘れ去られた部門、あるいは安楽死しつつあると言われる職業奉仕の理念と行動を、信念をもって蘇生させることができるか否かは、「返されたロータリー」を確かな手ごたえで受け止められるだけの資質を備えたロータリアンであり続けるべきという、固い意志にかかっている。

今年度は規定審議会の開催年でもあり、ロータリーの思想的節目にもなりかねない。「ロータリーがロータリアンの手にある」ことを実感できる1年となるよう、ケニーR I会長の心根と手腕に期待せずにはいられない。

東京多摩グリーンRC
赤尾 恭雄氏